

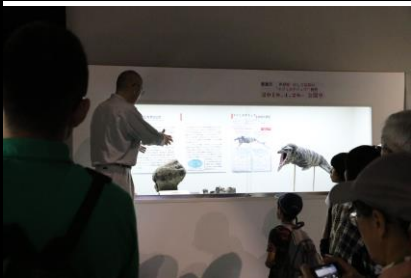




石教研中学校理科部会 実技研修会 終了報告

テーマ	中生代の化石・岩石に親しもう！	
日時	平成30年8月1日(水)	
会場	三笠市立博物館	
講師	<p>加納 学氏 (肩書:)三笠市立博物館 館長</p>	
参加者	約30名	
研修会 の 様子		<p>約30名近い方に参加して頂きました。小学生から高校生の子ども達も一緒に学習しました。 入口で開会式を行い、この後、加納さんの説明を聞きながら、三笠市立博物館内を案内してもらいました。</p>
		<p>館内にはたくさんの種類のアンモナイトがありました。写真左側に写っているのは、現在見つかった最大のアンモナイトの模型です。 アンモナイトにも、様々な形があり、らせん状に渦巻いているものもあれば、直線形のアンモナイトもいることを知りました。</p>
		<p>エゾミカサリュウの全身復元模型を観察、説明を受けました。エゾミカサリュウはモササウルスの新種で、頭蓋骨の化石が三笠市で発見されました。その実物を観察することや、実際に手に取ってみることもできました。</p>
		<p>後半戦は三笠市立博物館から少し離れたところで、化石掘り。2枚貝の化石がほとんどでしたが、多量の化石を見つけることが出来ました。残念ながらアンモナイトの化石は見つかりませんが、アンモナイトの化石があった跡はつけることができました。</p>
		<p>最後には、全員で記念撮影を。 とても暑い日でしたが、誰一人体調を崩すことなく参加できました。</p>